

学校教育を通じた魚食普及の取組



文部科学省

連携

水産庁

「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組む

生産者、水産関係団体、流通小売業者、教育関係者、行政等、魚に関わるあらゆる人々が一体となって、水産物の消費拡大について取り組む

「子どもと社会の架け橋となるポータルサイト」

(<http://kakehashi.mext.go.jp/>)

※
「企業等による教育プログラム(土曜学習応援団)」

(<https://manabi-mirai.mext.go.jp/program/index.html>)

支援の要請

▼学校側から

- 子供たちに夢を与えることができるような社会人講師を派遣して欲しい
- 実社会での経験や企業・団体等の強みを生かした出前授業をして欲しい

支援の提案

▼地域・社会や産業側から

- 講師を派遣できる
- 出前授業のプログラムを提供できる
- 職場見学を受け入れられる

情報提供・土曜学習応援団等への登録呼びかけ

マッチング

ニーズの把握

水産業界の取組

食材としての魚に親んでもらうため、小学生を対象に調理実習を開催し、魚のおいしい食べ方、料理方法を教えている。

学校給食等の食シーンだけでなく、魚の生態や漁師をはじめ水産業界の人たちがどのように働いているのかなどを一緒に教えるほうがいい。

魚食文化、水産業に関する教育機会の提供

現在、「土曜学習応援団」には大水、全漁連、JF全国女性連等の29団体が登録

要望

学校現場

支援

地域・社会や産業界等と連携した教育活動の充実

※ 「企業等による教育プログラム(土曜学習応援団)」については、HP(<https://manabi-mirai.mext.go.jp/program/index.html>)で登録団体・出前授業等プログラムを検索する支援のみ実施。